

平成25年度「職員提案アイデアオリンピック」表彰提案

1 県の施策に関する提案

<p>テーマ：県北の地域資源を活用した新たな交流人口の拡大</p> <p>【奨励賞】大学サークル「グリーンツーリズム愛好会」の設立</p> <p>提案者：茨城海区漁業調整委員会事務局 主任 澤田 隆志</p>	
提案内容	表彰理由
<p>県北地域は県内で最もグリーンツーリズムが盛んで、受け入れ体制が整備されている。</p> <p>本県には、多くの学生が在籍しサークル等の学生自主活動が盛んな茨大、筑波大をはじめ、10の大学がある。大学生のサークル活動は発展性、継続性が高く、各大学におけるグリーンツーリズム愛好サークルの設立やその活動をサポートすることで、幅広く、継続的にグリーンツーリズムの振興を図り、県北地域の交流人口の拡大につなげる。</p>	<p>県北地域においては、豊かな地域資源を活用した教育・研修旅行の受入体制の整備及び誘致PRに取り組んでいるところであり、大学サークル等が定期的に県北地域において体験研修を行う本提案は、サークル活動を行う大学生はもとより、他の学生等のさらなる誘客や本県のイメージアップも期待できるものである。</p>

<p>テーマ：茨城空港の利活用促進</p> <p>【奨励賞】SNSで茨城空港をもっとお得に活用しましょう。</p> <p>提案者：農村環境課 主事 古澤 翔</p>	
提案内容	表彰理由
<p>茨城空港の利用者やイベント参加者に積極的に広報していただけるよう、SNSを一層活用して情報をより多くの方の元に届けることにより、広報力を飛躍的に上昇させ、さらなる知名度上昇、利活用者増加を図る。</p> <p>(手 法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城空港のFacebookに「いいね！」している方及びTwitterをフォローしている人の中から抽選で茨城の新鮮野菜や果物等をプレゼントする。 ・茨城空港でのイベントの参加者でFacebookに「いいね！」している人及びTwitterをフォローしている人全員に試食用の野菜等、粗品をプレゼントする。 ・またその場で当日イベントの記事に「いいね！」や、同記事に対してコメントをしてくれた方に、茨城空港内で利用できる商品券等が当たる抽選券を配布する。 	<p>プレゼント対象者が固定化しないような工夫や、イベント会場で特定の者を対象とした抽選会の実施の可否など、いくつか検討が必要な課題はあるものの、提案内容は、茨城空港のみならず、茨城県のPRにもつながる有効な手段である。</p>

テーマ：農林漁業の6次産業化の新たな方策

【奨励賞】6次産業化マッチングバンク事業

提案者：広報広聴課 主任 藤井 崇生

提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>1～3次産業従事者同士の交流・情報交換の土壌を醸成するため、6次産業化を考えている事業者が登録する「6次化バンク」を新たに設置し、業種を問わずに定期的に面談する機会を設け、事業者同士の交流の下地を築く。また、6次産業化プランナーが事業者からの申請に応じてバンクから適合事業者を紹介・マッチングを行う。</p> <p>さらに事業者同士の申請に基づき、6次産業化プランナーが合弁会社を設立するまでをサポートし、1次産業従事者がノウハウの浅い2次・3次産業に取り組むことをより容易にする。</p>	<p>提案内容は、農業者と食品事業者等、1～3次産業従事者同士の交流・情報交換が活性化し、事業連携の促進が期待され、6次産業化の促進が期待できるものである。</p> <p>なお、実施には、農産物加工を行う食品事業者の把握などの課題もあるが、現在、6次産業サポートセンターが開催する交流会の次のステップとして検討できる有効な提案である。</p>

2 事務改善に関する提案

【奨励賞】ゆうメール利用による通信運搬費の削減

提案者：筑西県税事務所 係長 鳥羽 明子

提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>信書以外の郵便物を郵送する際にゆうメールを利用することにより、通信運搬費の削減を図る。</p> <p>ゆうメールは、年間100通の利用が見込まれれば契約可能であり、契約事務も非常に簡易である。</p> <p>また、普通郵便では、定形外郵便が500gまで重さに応じて120円から390円の郵送料のところ、ゆうメールは500gまで一律80円と料金が安いほか、郵便局員が集荷してくれる、支払が料金後納郵便と同じく月締め翌月払いの後払いとなるなどの利点もある。</p>	<p>契約事務等、多少の事務の増加は発生するものの、多くの郵便物を発送する課所においては大幅な通信運搬費の削減が期待できる効果の高い提案である。</p>

【奨励賞】法令・条例所管課索引の作成	
提案者：生活衛生課 主事 海老澤 有貴	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>現在，作成・活用されているキーワードにより業務主管課を調べることができる「業務主管課索引」のように，法令・条例版の索引を作成し，県民から問合せを受けた際に，法令名や条例名だけでも適切な担当窓口を案内できるようにする。</p> <p>なお，作成にあたっては，既存の茨城県例規集の五十音順目次を活用することにより，作業の効率化が可能と考えられる。</p>	<p>法令については県が関与しないものや複数の部署にわたるものなど対応が困難であるが，条例については既存の茨城県例規集の目次を活用することで新たな調査等を要さずに実施することが可能であり，また実施することにより県民等からの問い合わせ等により迅速に対応することを可能とする改善効果の高い提案である。</p>

3 県民サービスの改善に関する提案

【奨励賞】エレベーターホールへのミラー設置	
提案者：土地販売推進本部 副本部長 鈴木 康史	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>県民が多く利用する1，2階において，エレベーターの扉に向かって右側の枠内に，左側が見渡せる凸レンズ（道路カーブミラーと同様の原理）を貼る。</p> <p>県庁のエレベーターは，ドアが閉まろうとしたときに，フロアの上下ボタンを押してもドアは閉まってしまうため，エレベータードアが閉まる時に乗ろうとしている人がホールにいないかを，エレベーター内の人（特に職員）が発見し，直前にドアが閉まることを防止することで，より一層，気持ち良い利用できる県庁とする。</p>	<p>提案内容は，エレベーターを利用しようとする来庁者が，その目前でドアが閉まってしまふことを回避しやすくし，来庁者へのサービス改善効果の高いものである。</p> <p>一方で，県庁舎のエレベーターは低層用・高層用それぞれ6台ずつあり，その効率的な運用を確保するため回転率を上げることへの配慮も必要であることから，安全な利用の確保に重点を置いて運用している身障者対応エレベーターに試行的に導入して提案内容の効果を検証することなども必要であると考えられる。</p>

【奨励賞】 職員配置図の改善	
提案者：人事課 係長 橋浦 佳世	
提 案 内 容	表 彰 理 由
課所職員の配置図について、全庁統一的に、担当職員の欄に主な担当業務を書き込むことにより、外部からの来庁者の目的地への誘導が円滑化するだけでなく、職員にとってもわかりやすいものにする。	来庁者への案内のために執務室の入口に掲示している職員配置図について、職員ごとの担当業務を掲載することで、来庁者に目的の場所をより親切でわかりやすく案内することができ、案内表示の改善として効果の高い提案である。

【奨励賞】 来庁者にやさしく	
提案者：会計管理課 室長補佐 袖山 美佐夫	
提 案 内 容	表 彰 理 由
来庁者への案内のため、各執務室の入口付近に掲示している各課の配置図に職員名のふりがなをつけていない課があり、来庁者が戸惑っている場合もあるので、すべての課の配置図にふりがなをつけ、来庁者の案内をスムーズにする。	来庁者への案内のために執務室の入口に掲示している職員配置図について、職員の氏名表記にふりがなをつけることで、来庁者に目的の場所をより親切でわかりやすく案内することができ、案内表示の改善として効果の高い提案である。

【奨励賞】 記名票の改善	
提案者：事業推進課 係長 松本 寛	
提 案 内 容	表 彰 理 由
職員が着用している記名票は、長期間使用することで文字や写真が滲んで見づらくなってしまい、来庁者に対して失礼なため、接遇改善の一環として、多少のコストをかけてでもパウチ化やプラスチック化する。 また、基本となる形式以外に、各課の判断で、車・バイクの「ご当地ナンバープレート」のような、工夫を凝らした記名票を用いることを認める。	記名票の交付時に一括してパウチ化やプラスチック化することはコスト面・時間面から困難であるものの、交付後に各所属においてパウチ化や保護フィルムの貼付などの工夫をすることで、長期間使用しても滲んで見づらくなることを防止することができ、着眼点としては有効な提案である。 なお、記名票のデザインについては、記名票着用の目的が、県職員としての身分を県民に明らかにすることで県民が安心してサービスを受けられるようにすることであるため、県民の誤解や混乱を極力排除する目的達成のための必要最小限のものとしている現在の仕様を変更することについては、慎重に検討する必要がある。